



★今月のTOPICS★ 学ぶは真似ぶ！？

皆さん、こんにちは。長尾です。本日は「学ぶ」ということについて考えたいと思います。そもそも「学ぶ」という言葉の語源は「真似ぶ」つまり、誰かの真似をすることから派生しているということがあります。考えてみればそうかもしれません。幼少期から学んだことは親の教育にしても、算数や国語、社会などの学問にしても誰かが整理したこと、誰かが編み出したことを親や先生を通じ自分も真似ていることにほかなりません。また、守破離（しゅはり）という言葉があります。まずは教えを守ること、次に教えられた方向でさらに高めること、最後に自分のテイストを加えるということの意味です。武道や職人の世界ではよく使われる言葉です。ここでもやはり、教えを守るとま真似ることが最優先されています。

私自身も比較的若い時に起業しましたが、ここまでそれなりに順調にきているのは“真似ぶ”を徹底したからだだと思います。残念ながら私自身に特別な才能はありませんでしたので、自分で何かを生み出すよりも偉大な経営者や先生がその著書で言われていることを忠実に守ってきたことの方が成功する確率は高いと思ったからです。“真似ぶ”のにもコツがあります。それは「素直な心」をもつことです。本に記載されていても、「それはこの人が運が良かっただけ」「当時と時代が違うから」などと素直に見れないことがあります。まずは素直にやってみようという事が大事です。いきなり俺流、我流を發揮するとろくな結果になりません。まずは本で書かれている教えや先輩の助言、会社のルールを守ること成長を促すことが重要です。特別な才能がない限り自己流は失敗しますからね。皆様も成長が止まっているなあと感じた時は尊敬する上司や先輩、自分の好きな経営者の著書などの教えを忠実に守ってみてはいかがでしょうか？きっと真似てみて初めてわかる世界があると思いますよ。

★山陰地方からのレポート★ 宮内 伸人 <松江市で感じる歴史ロマン、「鉤型路」って？>

2015年5月15日、松江城が国宝に指定されることになりました。松江市はもとより島根県にとって松江城は以前より有力な観光資源でありましたが、今回の国宝化の動きのおかげで肌感覚でこの松江市を訪れる観光客が増えていることを実感しております。長尾経営事務所（山陰）はこの松江城の北東約1キロにあります。いわば城下町にたまたむコンサルティング事務所・・・ってところでしょうか（笑）この松江城周辺には「鉤（かぎ）型路」という少し変わった路があります。一本路かと思いきや直進するのですが、いきなり民家の壁にさえぎられ直角に方向転換。そしてまた次の民家の壁にさえぎられ、もと来た方向に動きを変えさせられる・・・まさにドライバー泣かせの路です（笑）



<プロ撮影の鉤型路、松江市寺町>



<素人撮影（笑）の鉤型路、松江市石橋町>

この「鉤（かぎ）型路」は、松江城築城とともに造られました。そうです、まさに「市街戦」を想定して城下防衛のために計画的に造られたのです。確かに、天守閣をめがけて襲い掛かろうとする大軍勢にとってこの「鉤型路」はとてつもない大きな障害物となったであろうかと、まさに愛車をドライブしながら感じるところです。もっぱら私にとってこの「鉤型路」は、事務所に鎮座する主（あるじ）の鉄拳と追撃から、ほうぼうの体で逃れるための「敗走路」（爆笑！！）。なんともスリリングですね<。今月はここまでです。

新しい仲間をご紹介します

皆様はじめまして！今月から長尾経営事務所働くことになりました、住吉いずみ（すみよしずみ）と申します。今後ともよろしくお願ひ致します。簡単に自己紹介させて頂ければと思います。私は生まれも育ちも大阪で、今年で25歳になります。背は150cmで幼く見られがちですが、中身は大阪のおばちゃんと言われます（笑）長尾と出会ったのは就職活動の時、「コンサルタントってどんな仕事なんやろか。調べてもよく分からへんから、直接聞いてみよう！」と、HPを見て連絡したのがきっかけです。それから縁あって、一緒に働かせて頂くことになりました。趣味はおいしいお店や雑貨屋さんを探すことで、気になるお店があれば、ぴょいっと飛び込んでいきます。まだまだ知識も経験もなく未熟者ではありますが、早く成長して少しでも多く皆様のお役に立てるよう、精一杯精進してまいります！皆様これからどうぞよろしくお願い致します！

★編集後記★

さて、入社前のお休みに沖縄旅行に行っておりました住吉です。主要な観光スポットやおいしいお店をたくさん巡りましたが、中でも印象に残ったのが読谷村にある「さんご畑」。世界で初めて人工の養殖サンゴの移植と産卵に成功し、映画「ていかんかん」のモデルにもなりましたね。大小様々なサンゴと、色とりどりの魚たちが本当に美しかったです。当たり前ですが、みんな一生懸命に生きているんだなあ、と改めて感じました。

「経営改善計画策定支援事業」ってご存知ですか？

長尾経営事務所（山陰）では現在、市内の企業さまに対して中小企業庁のスキームである「経営改善計画策定支援事業」に添ったご支援をさせていただいております。この制度は、事業者さまが国の認定を受けた認定経営革新等支援機関（認定支援機関）の支援を受けて経営改善計画を策定する場合、費用総額の2/3（事業規模に応じて最大200万円）まで国庫の補助を受けられるという大変貴重な制度です。ですが、残念ながら事業者さまにはこのスキームはよく知られておりません。事業者さま、特に社長さまは特に取引金融機関とは常に良好な関係を保ちたいとお考えのことと思います。そのため大切なコミュニケーションツールのひとつがこの「経営改善計画書」です。ですが日々の業務に多忙を極める社長さまにとってこの「経営改善計画書」をご自身の手で最初から作成することは極めて骨が折れます。このような場合、是非とも私ども長尾経営事務所のような外部コンサルの支援を受けたいならはどうかでしょうか？「コンサル事務所を使うとお金がかかりそう<>」とお思いの社長さまは非常に多いです。しかし今回ご紹介する認定支援機関支援による「経営改善計画策定支援事業」スキームを利用すれば負担が大幅に軽減されます^^。『取引金融機関との関係をもっと良好にしたい・・・』。『自社の経営状況を一度診断してみたい・・・』。といった社長さまのお悩みや願ひ。私たち長尾経営事務所は親身になって社長さまの思いを分かち合います^^。